

<白金標準、米国とイランの覚書合意ならば 10000 円回復・・・>



(出所：オアシス)

米国とイランの 60 日間の停戦協議の覚書に署名するだけの状況まで進むも、週末にホワイトハウスで行われた「最終決定」では、トランプ大統領は結論を示されなかったと報じており、ポジティブな雰囲気の中、水を差す要因が出ている。特に一時米国とイランが 48 時間で 2 度も交戦を行い、原油高：金利高のネガティブな反応を見せたことから、金価格の急落に追随し、白金標準先物は 9385 円まで下値を模索している。ただアクシオスのスクープに合意間近の雰囲気から 9803 円まで戻しているも、トランプ大統領の結論が出なかったことから、今週は再度下値模索の値動きを見せる可能性は高まると思える。ただ「Tuesday taco」と言われている様に、トランプ大統領は市場の動きが悲観になると楽観的なニュースを提供する事から、突発的に売り込まれると巻き戻しの動きが起こり易い。

特に株価は中東情勢と関係なく堅調な動きを続け、白金の需給報告では 3 年連続の供給不足を指摘するなど、中東情勢以外では白金価格が売り込まれる状況にはない。そのためネガティブな要因では 9700 円以下を示すも、ポジティブな要因では 9900 円を上回って来る事から、TACO に備えて 9700 円以下は強気の逆張りが妥当に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ渋り、**シグナル** は切り下げている。RCI では**短期**が上昇しながら、**長期**は下げ渋っている。特に指数平滑移動平均線のレンジを下回っており、レンジに戻る事が出来るかに注目される。

レポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,125,000 円(2026 年 6 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 106,920 円(2026 年 6 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>